



vol. 43

◆地域の皆様と所沢ロイヤル病院を結ぶ広報誌

はなみずき

発行 所沢ロイヤル病院 広報委員会 はなみずき編集部
〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11
医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院
TEL: 04(2949)3385 FAX: 04(2949)7872
ホームページアドレス <http://www.wam-town.jp/k/tokorozawa/>



平成28年7月1日発行

〈病院理念〉私たちは安全で良質な医療、心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。



大久保院長のほっとホット

「地域包括ケア病棟」を新たに構築へ

消費税増税が、再度延期されました。本来であれば、平成29年4月から、現行の8%から10%になる予定が、諸般の事情で31年10月まで再延期されました。これで一番の心配は、社会保障費の財源が大幅に削減されるのではないかとこの事です。いずれにしても、医療の世界でも、今以上に無駄を省く努力は続けていかなければなりません。

所沢ロイヤル病院も、医療、介護の面で、その機能を充分明確にしていく必要があります。限られた医療資源を有効に機能させていくためには、各医療機関が得意とする分野をより明確にし、地域の医療の更なる連携を強固にしていかなければなりません。そこで、私たちは、急性期病院からの受け入れや、在宅医療を行っているクリニックの先生方からの入院依頼をスムーズにするため、「地域包括ケア病棟」を新たに構築することとし、さまざまな条件整備を行っていきます。また、療養病棟でも重症度の高い患者様をより多く受け入れていくための準備も合わせ行っています。

患者様、ご家族様からこれまで以上に信頼され、安心していただける病院を目指し、努力を続けてまいりますので、よろしくご理解、ご指導のほどお願い申し上げます。



第三回 埼玉石心会×所沢ロイヤル病院 健康講座を開催しました！

この度、5/19(木)に地域の皆さまへの医療情報提供を目的とした健康講座を埼玉石心会病院さまの後援のもと開催致しました。

今回でこの講座も三回目。試行錯誤を繰り返しながら、会を重ねるごとに色々な試みを行ってまいりました。



今回の演題は以下のとおりです。

第1講演：埼玉石心会病院 心臓血管外科

*小柳俊哉副院長先生から「人生を変える健康のチカラ～心臓と血管がよるこぶ生活法」

第2講演：所沢ロイヤル病院 栄養科 川原あゆみ

*管理栄養士から「長続きできる減塩食のポイント」の内容で講演致しました。

試みの一つとして、聴覚障害者の方々にもぜひ参加いただくため今回から手話通訳の方にご協力をお願い致しました。結果、聴覚障がいをお持ちのお客さまに多数ご参加いただくことができ、とても有意義な講習となりました。

今回初めてご参加いただいたお客さま、毎回さまざまな地域より講座にご参加下さるお客さまにはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

当院では今後もこういった機会をもうけ、医療に関するさまざまな情報を皆さまに提供させて頂きたいと考えております。ご意見ご要望などございましたら、受付や電話にてご連絡ください。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(文/地域連携部・澤田)



講演風景

リハビリテーション科 作業療法室の紹介



●作業療法とは？

セルフケア、家事、生産的活動、趣味活動、地域活動など、これらの日常生活活動ができるようになるための治療や援助のことを言います。また、身体機能面のみでなく、精神機能面(心理面へのケア)へのアプローチも行うことが特徴的です。

●作業療法室には、こんなものがあります。

①和室……………

畳の上での移動や立ち座り、クローゼットへ衣類の出し入れなど、模擬的な練習が行えるスペースです。押入れの中には布団が収納されており、布団の出し入れや、布団敷き、布団へ横になる、という一通りの動作練習が出来ます。



②キッチン……………

自宅環境を想定したキッチンも完備されています。一般的な調理器具はもちろん、片手でも調理できる器具なども豊富に揃っています。ここでは、実際に食材を使ってカレーや肉じゃがなど、患者さまがリハビリスタッフとともに調理訓練を行ったりしています。

③入浴……………

リハビリ室で浴槽またぎ、浴槽内での立ち座り動作の模擬練習が行えます。毎日継続して練習が行えることに加え、写真のような入浴用すりやシャワーチェアなど、福祉用具のお試しもできます。



※他にも、リハビリ室には面白いものがあるので、ぜひ遊びに来てください！

●退院後へ向けて…

先ほど紹介したようなリハビリ室の環境を利用しつつ、退院後の生活を想定したリハビリの提供を心がけています。特に在宅復帰される方であれば、退院後は院内での生活環境とは大きく異なった環境での生活となります。そのギャップを少しでも埋め、安心感を持って在宅や施設へ退院していただければと思っております。

(文/作業療法士・田中)

食中毒にご用心！ ～毎年8月は「食品衛生月間」です～

食中毒は、原因となる細菌が高温多湿を好む性質があるため、4～5月頃から多くなり、夏場に最盛期を迎えます。食中毒の原因となる物質は、化学物質から自然毒まで多種多様ですが、主な原因は「細菌」と「ウイルス」です。

◆細菌性食中毒

《感染型》体内で細菌が増殖して病原性を持つ(腸炎ビブリオ・サルモネラ・カンピロバクター・腸管出血性大腸菌など)

《毒素型》食品内で細菌が産生した毒素を摂取する事で起こる(黄色ブドウ球菌・ボツリヌス菌など)

◆ウイルス性食中毒

感染力が強いため、ヒトからヒトへ二次感染を引き起こし集団感染する。冬場に多い。(ノロウイルス・ロタウイルスなど)



食中毒予防の3原則



①細菌を付けない、持ち込まない 洗う！分ける！

食中毒の原因菌を付けないために、作業変更毎に、手洗いと調理器具の洗浄(乾燥)を行いましょう。
例) トイレに行ったあとや鼻をかんだあと手洗いをする、生の肉や魚を扱った調理器具は分ける。

②細菌を増やさない 低温で保存する！

高温多湿な環境で細菌はどんどん増殖するので、食品は冷蔵庫、冷凍庫に保管しましょう。低温でも細菌はゆっくりと増殖するので、冷蔵庫を過信せずに早めに食べることも大切です。

③細菌を殺す 加熱処理！

75℃で1分以上(ノロウイルスは85～90℃で90秒以上)加熱する事でほとんどの細菌は死滅します。肉や魚はもちろんのこと、野菜なども少しでも疑わしい場合はしっかり加熱して食べましょう。

以上、食中毒について紹介しました。夏バテなどにより抵抗力が低下していると、さらに食中毒にかかりやすくなります。上記の3原則をしっかり守り、体調を整えて、食中毒予防に努めましょう。(文/看護師・小野)



みるみる！スマホやるん♪



スマホの声は自分の声じゃない？



皆さまはスマートフォンや携帯電話を通して聞こえてくる相手の声は「本人の声」じゃないってご存知ですか？ では、一体誰の声なのか、と云うと……実は「合成音」なんです。

スマホをはじめとする携帯電話は、通話音声デジタル化してモバイル回線で送信しています。しかし、音声を忠実にデジタル化しようとするとその電気信号は複雑化してしまい、データ量が膨大なあまりに通信がパンクしてしまいます。

そこで採用されたのが『CELP』という技術。

まず、約2500種類以上の合成音声登録されているコードブック(音の辞書)から話し手の声の特徴に最も近い音を選び、コードブックの番号と音韻情報だけ(データ量を大きく削った状態)を電波に乗せて話す相手に送ります。そして、データを受信した相手側が音韻情報とコードブックの番号をもとに音声を合成しているわけです。

なので、「電話を通すとお母さんと娘の声がすごく似ている」とか、「兄弟の声の区別がつかず間違えた」という声をたまーに聞きますが、案外同じ種類の声で再生されているのかもしれない。

19世紀に電話が発明されて140年。

未来の通信技術は人類にどんな未来を見せてくれるのでしょうか？



※CELP(セルプ) : Code Excited Linear Prediction

(文/総務課・高橋)

お知らせ



7/27 (水) 元気茶屋

夏真っ盛りの元気茶屋は納涼バージョンで開催致します。是非お楽しみに！

時間/14:00~15:30



9/10 (土) 敬老会 (午後開催予定)

毎年大盛り上がりの敬老会は今年も盛りだくさんの催しで開催致します。ご家族さまも是非お揃いでご参加くださいませ♪

※上記内容は諸事情に因り予告無く変更となる場合があります。判り次第、院内ポスター掲示及び当院ホームページ上でお知らせ致しますのでご理解ご了承ください。

編集後記

7月に入り、いよいよ夏本番といった日々がやってきますね。二十四節気でいうと、7月7日から「小暑」の時期になり、暑さがどんどん強くなっていくという意味があるそうです。梅雨が明け、強い日差しと共に気温が一気に上がる時季のため、体調を崩しやすくなる頃でもあります。水分補給をこまめにとり、熱中症には気をつけましょう。土曜丑の日はもう少し先ですが、うなぎでも食べて体力を養うのもよいかもしれませんね。(文/リハビリテーション科・榊原)

